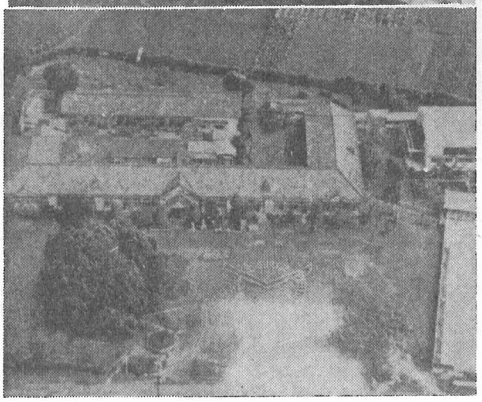
十年一昔（その三十）

—大総小学校の今昔—

給食センター小沢所長寄稿

横芝町立小中学校の殆んどが鉄筋コンクリート建になり木造の校舎は大総小学校にだけ残っています。大総小学校に関係を持つ或人は言っていました「私達の心に残っている学校らしい校舎は少くなりました。できれば一棟ぐらい残しておきたいものです。」と

大総という地域は山林が多く、校舎の用材は随分上質のものを使っていますので、木口等にも何となく風格が感じられること等が、いわゆる学校らしさという言葉で表現されたものと思います。それにこの校庭には校長住宅や青年



学校の校舎等もありましたのでそれだけ長い期間を学校として使い慣れていたためかもしれません。校長住宅は、現在体育館の建っている後の左側辺りに在りました。周囲は杉の生垣でしたが校庭の隅ですから失投のボール拾いや物珍らしさからこの生垣を無断越境して先生に叱られたりするのもむしろ楽しみの一つだったようです。またこの学校の思い出としては、この地域が水脈に恵まれない所なので井戸水のことが多いのです。校庭には西の井戸、東の井戸と呼ぶ二つの井戸がありました。一つは体育館と校舎の間辺りでこれを東の井戸と呼んでいました。

校長住宅の生垣を無断越境のイタズラ坊主を見付けた先生が、この井戸水を頭から浴びせたりしました。夏の季節になるとわざと先生に見付かって水を浴びせられて喜んだりしたのです。

西の井戸というのはいまの観察池の所にありました。確か池ができる少し前まであったと思います。渇水期には時折水が減ってしまうので井戸の底をさらったものです。学校の近所に青木さんという人が居てよく頼みました井戸の底に降りた青木さんの合図で大きな釣べ桶で先生や児童がヨイサヨイサと丁度地引網の様に太い綱を群がりながら引張ったりしました。

思い出と言えばこの学校の庭には日露戦争の記念樹とかいわれる桜の大木がありました。枝を四方に広げた様子が笠を開いた形に似ているので唐笠桜と呼んでいました。運動会等には、この桜の回りにトラックを造りその幹に旗竿を結えて万国旗の中心にしたりしていました。夏場には、陽除けにはなりますが、毛虫が下ってきたり、普だん子供さんが運動するのには、大分邪魔になるというので伐り倒そうとした所へ当時の町長さんの雷が落ち、あわてて中止したという話も残っています。

そうした思い出の数数を残しながら、歳月の移り変りは何時か校長住宅も、そして東の井戸もその姿を消しました。伐り倒そうとして大落雷を喰った方も雷を落した方も、共に元気に御活躍を続けておられますが、その唐笠桜は何時か姿を消してしまいました。

鉄骨の体育館、夢に画いたプール、観察用の池と近代化する施設に子供さん方の幸を喜びながらも「私達の学んだ教室、そして校舎に残る幼い頃の思い出は、生涯忘れることはないだろう。せめて職員室の姿だけでも、玄関の形だけでも保存してもらいたい」という念願は町を愛する人程切なるものがあると思います。

写真上は、昭和三十四年頃の航空写真です。上部右隅にはまだ校長住宅が見えます。校舎の右角の下には唐笠桜も残っています。その間の校庭には児童の大フサ小という人文字が見えます。下の写真は最近の航空写真です。校長住宅も唐笠桜も見えず体育館とプールが目につきます。校舎の前には児童が集って画いている人文字？は大総小のマークです。（本稿取材に当り大総小職員及び卒業生の皆さまの御協力を感謝いたします。）

有線加入者の異動

	部落	氏名	番号
新規加入	桜前	堀越実	27～16
	〃	伊藤静	27～17
	〃	伊藤英一	27～18
	上町2	押尾宣敬	36～17
	〃	村田屋石油	37～5
	〃4	片山春樹	42～13
	本町4	内田惣次	51～16
	東町1	鈴木正雄	59～2
	〃4	向後豊	60～2
	四五会	中谷幸一	84～14
	〃	出山輝夫	85～16
	東ケ丘	青野三郎	84～18
	〃	若梅勇	86～18
	鳥喰下	市原徳礼	89～8
	〃	土屋勝太郎	100～17
	古川	鈴木文雄	47～13
	三軒家	鈴木世津子	104～18
	入間	警察官入間連絡所	
廃止	上町2	伊藤蔵之助	38～5
	〃4	吉田政彦	42～13
	本町4	大島秀夫	49～7
	古川	実川節	47～13
	〃	八角良吉	47～6
	東町1	秋葉又男	60～2
	〃	中沢正二	59～2
	〃4	小林清春	63～7
	東ケ丘	浅野八重子	96～18
	青芝会	小菅忠	85～16
	鳥喰下	市原豊	89～8
移転	本町	山匠青果市場 6/～10から53～1へ	